

【様式4】

## 令和6年度海神公民館事業計画

### 1. 地域の状況

海神公民館は市内で25番目の公民館として平成12年5月13日に開館した。対象地域は海神1～6丁目、南本町、海神町2丁目～3丁目、海神町東1丁目、海神町西1丁目、海神町南1丁目、南海神1丁目～2丁目で、面積約2.8㎢からなり、対象人口は令和6年4月1日現在、17,507世帯、32,674人である。管区内には小学校が3校と中学校が1校ある。海神公民館の立地は、京成海神駅から徒歩1～2分と交通の便が良いため、他地域の方にも多く利用されている。

### 2. 地域の課題

- (1) 少子化が進む中、地域全体で子供たちを見守り育てることが重要である。また、地域の学校・児童ホーム・青少年育成団体・地区社会福祉協議会等と連携し、親子や子供たちが参加しやすい場を提供し、豊かな体験を通じた青少年及び子育て支援事業が必要である。
- (2) 高齢化率は市の平均より下回るが、地域内の交流が希薄になっていることが懸念され、高齢者等が孤立する状況が増えていくと考えられる。
- (3) 人生100年時代といわれる今後を、心身ともに健康に過ごすため、地域住民の学ぶ機会や生きがいがづくり、健康づくりが重要である。また、デジタル化がますます進むため、情報格差への対応が必要である。
- (4) 台風や地震等への備えを日頃より意識する必要がある。また、環境問題について考え行動することが必要である。
- (5) 地域住民が生き生きとした人生を送ることができるよう、共生社会の正しい理解が必要である。

### 3. 重点目標

- (1) 青少年育成団体や学校・児童ホーム等関係団体・機関と連携をとりながら、青少年の体験活動やスポーツ、文化活動等主体性を伸ばすための事業に取り組む。地域で相談、解消できることを目的とした事業を展開し子育てを支援する。
- (2) 孤立しがちな高齢者を対象とした事業の他、世代を問わず交流が図れる事業展開により、地域交流の場を提供し、地域の活性化につなげる。また、地域住民が郷土への愛着を持てるような取組みを実施する。
- (3) 高齢者はもとより、年齢を問わず心身の健康の維持・増進を支援し、仲間づくりや生きがいを推進する。また、情報格差の解消、生活の一助になるための講座を継続して行う。
- (4) 防災意識を高めるため、防災に関する事業を行う。また、環境問題について考えるきっかけづくりを行う。

(5)多様な学習ニーズを有する成人に対して、様々なライフステージに応じた事業を展開し、充実に努める。